

第 59 号

令和 2 (2020) 年 3 月 10 日

発行 十勝地区国際理解教育研究会 代表 山川 修

担当 広報部（士幌町立士幌小学校内）

..... (飾り罫線)

「身近なところから自己肯定・他者理解・相互理解、 そして国際理解へ」

十勝地区国際理解教育研究会
会 長 山 川 修
(幕別町立札内南小学校)



令和 2 年、2020 年が始まりました。全国的に気温が高く、少ない降雪となった北海道・十勝（1 月現在）、いったい地球はどうなってしまうのだろうか、十勝ならではの陸リンクも寿命が尽きる日がやってくるのだろうかとか心から心配になります。2030 年誘致の札幌オリンピック・パラリンピック開催のころに雪はちゃんと降るのか・・・。

今年は東京・札幌でのオリンピック・パラリンピックの年。今まで以上に外国からの訪日客も多くなることと思います。大陸から海で隔てられた島国・日本は、他文化・多文化との関わりが苦手だと言われていますが、地球全体がグローバル化され、IT も発達し、江戸時代の鎖国などできない状況です。保護主義ともいうべき内向き策を取ろうとしている世界の風潮・・・これで良いのだろうかと思うのは私だけではないと思います。せっかくの滅多にない機会ですから、交流体験・経験、見聞だけでも積み重ねて欲しいと思いますし、私自身、そうしたいと考えています。

自分・自国のことばかり追及していくと、国連加盟国 193 か国で合意された SDGs（持続可能な開発目標）を達成するのはまず無理です。決めたことにどのようにして向かっていくのか、人間の知恵が試されている気がします。

その点、スポーツは「ワンチーム」を形成するのに自然と湧き上がる心を一つにしてくれる素晴らしいアイテムです。純粋に感動を呼び、応援したくなる気持ちを醸成してくれます。大多数の人々にとって、そこに利害関係は発生しないはずで。昨年のゴルフの「渋野日向子」さん、バスケットボールの「八村塁」さん、現役引退された野球の「イチロー」さんの顔が浮かびます。

文化面でもノーベル化学賞を受賞した「吉野彰」さん、囲碁の「仲邑薫」さんの活躍には大きな拍手を送りたくなります。

人生 100 年時代。私も子どもたちもまだまだ多くの時間が与えられているはずです。世の中に主体的・対話的に向かい、自ら考え、深い学びの中でより多くの人々・国々と共生していきたいと思います。「ワンチーム」「ワンワールド」「ワンアース」ですから。

事務局

事務局長 越智 卓

(帯広市立川西小学校)

5月 7日(火) ○大豆の会 柳町小学校 (川上校長・伊藤校長・笠松教頭)

12日(日) 北海道国際理解教育研究協議会 春の学習会
(山川会長・越智事務局長・多田研究部長)

18日(土) ◎総会 開西小学校会議室 14:00～

会 長	山川 修	幕別町立札内南小学校	校長
副会長	森本 聡	音更町立緑陽台小学校	校長
〃	川上 裕明	帯広市立大空小学校	校長
〃	野中 利晃	帯広市立開西小学校	校長
〃	伊藤 道彦	音更町立柳町小学校	校長
〃	稲葉 瑞樹	鹿追町立上幌内小学校	校長
研修部長	多田 明寿	帯広市立緑園中学校	主幹
研究部長	野田 剛	浦幌町立上浦幌中央小学校	教頭
組織部長	古村 俊大	帯広市立帯広第二中学校	教頭
広報部長	河井 義徳	士幌町立士幌小学校	教頭
事務局長	越智 卓	帯広市立川西小学校	教頭
事務局次長	合田 真晃	帯広市立花園小学校	教頭
〃	河江 邦教	帯広市立啓北小学校	教諭
会 計	磯谷 麻江	帯広市立帯広小学校	教諭
監 査	猪股 宏亮	池田町立利別小学校	校長
〃	橋場 仁	帯広市立啓西小学校	校長

○第1回役員会 開西小学校

6月20日(木) ◇JICA帯広沢田代表へ挨拶(山川会長・越智事務局長)
◇音更町教育委員会(宮原教育長)へ挨拶(山川会長・越智事務局長)

6月21日(月) ◇局(大橋局長、渡曾指導監)へ挨拶(山川会長・越智事務局長)

7月 7日(日) ○「世界のともだち2019」展示ブース 10:00～森の交流館
(古村組織部長、須田組織副部長、伊藤教諭)

7月12日(金) ○第2回役員会議

8月22～23日 ○第46回全国国際理解教育研究大会 北海道大会
○第40回北海道国際理解教育研究大会 旭川大会
(山川会長、川上副会長、伊藤副会長、多田研究部長、佐藤教諭、
山崎教諭、山下教諭、提言者として中島 緑郎教諭参加)

8月28日(水) ○第3回役員会議

10月 1日(火) ○第40回十勝地区国際理解教育研究大会音更大会事前打ち合わせ

(柳町小学校)

10月 7日(月) ○第40回十勝地区国際理解教育研究大会音更大会指導案検討会
(共栄中学校)

10月30日(水) ○第40回十勝地区国際理解教育研究大会音更大会

授業「第3章3節 アフリカ州」

-児童労働から見るアフリカの課題と展望- 1年 社会科

小泉 佳世〔音更町立共栄中学校〕

授業「世界のこんなところに十勝」

2年 総合

2学年教諭7名〔音更町立共栄中学校〕

授業「その子の世界、私の世界」

3年 道徳

田口 健人〔音更町立共栄中学校〕

授業「にているところ、ちがうところ」

4年 総合

佐藤 紀子〔音更町立柳町小学校〕

授業「新しい日本、平和な日本へ」

6年 社会科

村居 拓郎〔音更町立柳町小学校〕

講和「授業で使える国際協力現場10分映像について」

古川 浩一 様〔JICA 北海道(帯広) 道東業務課〕

研修「道徳の授業づくりに生かす国際理解教育」

小島由紀子 様〔北海道開発教育ネットワーク(D-net)〕

大津 和子 様〔北海道教育大学名誉教授〕



11月23日(土) ○第4回役員会議

○海外事情報告会(帰国報告会)・会員交流懇親会

1月 6日(月) 北海道国際理解教育研究協議会 理事総会・研修会

帰国教員報告会及び派遣教員研修会(JICA札幌)

(山川会長、多田研究部長、越智事務局長参加)

2月15日(土) ○第5回役員会議

○派遣教員激励会

3月 ○会誌「国際理解教育を求めて」第59号発行

□ 北海道国際理解教育研究協議会事務局次長 川上 裕明(大空小)



研究部

研究部長 多田 明寿

(帯広市立緑園中学校)

○ 活動経過報告

- 5月12日 北海道国際理解教育研究協議会 春の研修会（全国大会準備）：旭川
7月24日 指導案作成のための説明会（音更柳町小学校 音更共栄中学校）
柳町小学校：授業者 佐藤紀子教諭 村居拓郎教諭
共栄中学校：授業者 小泉佳世教諭 小森静教諭 田口健人教諭
※これ以降，2度，詳細説明を該当校にて実施。
8月21日 全国国際理解教育研究大会旭川大会 道研究発表を担当
22日 〃 公開授業および事後研に参加
10月 3日 部会兼指導案検討会（柳町小） 7日 部会兼指導案検討会（共栄中）
10月30日 第40回十勝地区国際理解教育研究大会 音更大会
1月 6日 北海道国際理解教育研究協議会 研究部長出席：JICA札幌
理事会総会，研修会・帰国教員報告会・派遣教員研修会

○ 第40回十勝地区国際理解教育研究大会 音更大会 を振り返って

研究主題「多様な世界に関わり続ける行動力を身に付けた児童生徒の育成～世界と関わる楽しさを行動化につなげる学びの創造～」のもとに，柳町小と共栄中を会場とし，多面的・多角的な研究と実践を目指しました。

小学校第4学年総合的な学習の授業では佐藤教諭が「にているところ ちがうところ」をテーマに，セネガルと日本の文化や国民性の違いを子どもたちに主体的に考えさせる授業を展開しました。小学校第6学年社会科では，村居教諭が「東京オリンピック」を題材に，1940年の東京オリンピック中止から，国の在り方や平和な社会を子どもたちが深く思考する場面を設定しました。

中学校第1学年社会科の授業では小泉教諭が「児童労働とアフリカの課題と展望」を題材に，実際の力カオを導入に用い，国際貢献について幅広く考える授業を行いました。第2学年総合的な学習の授業では，小森教諭が中心となり「世界のこんなところと十勝」と題して，日本・十勝と各国との相違点や共通点を見だし，自分たちの地域を再考していました。田口教諭の第3学年道徳では，「その子の世界，私の世界」を題材に，開発教育の手法を取り入れ貧困の連鎖を考えることで，地球市民としての視点を持つことができました。



研修部

研修部長 野田 剛

(浦幌町立上浦幌中央小学校)

○活動経過報告

- 10月30日(水) 第40回十勝地区国際理解教育研究大会・・・会場設営
(音更町立柳町小学校、音更町立共栄中学校)
- 11月23日(土) 海外事情報告会・交流会(宮崎ホテル)

○反省

〔海外事情報告会〕

日時: 11月23日(土) 16:00～17:50 報告会 18:00～19:30 交流会

会場: ホテル宮崎

報告者: 伊東 宏修 教諭(鹿追町立鹿追小学校 教諭・オーストリア ウィーン日本人学校)
久永 恵子 様 (帯広市教育研究所・アメリカ合衆国 ニュージャージー補習校)

報告者の話から参加者は

- ① 海外の教育施設で勤務した貴重な経験を聞き、大変参考になった
- ② それぞれの国の文化背景を生かした学校教育活動が営まれており、その特色を生かした体験活動は、子ども達の視野を広げる意味ですごく良い。
- ③ 日本人としての良さである協調性は、ともすれば主張がないという見方もあり、国によって異なることを知った。
- ④ ジェスチャー一つとっても、許される国と許されない国の両方があることがわかった。
(第二次世界大戦は、その意味で人の身も心にも大きな傷を残し、今も苦しんでいる人がいる)
- ⑤ 交流会では、さらに詳しく話を聞いたり、以前の派遣先の思い出話をしたりと、交際理解に関わる幅広い交流ができた。

〔第40回 十勝地区国際理解教育研究大会〕

日時: 10月30日(水) 8:40～

会場: 音更町立柳町小学校 音更町立共栄中学校

*事務局・会場校との連絡を密に行い、業務を遂行することができた。

*前日から準備を始めたが、会場校・および会員各位の協力でスムーズに行うことができた。

*当日、たくさんの研修部員が準備から受付、駐車場係、お弁当係と役割を分担してすすめることができた。これからは部全体の仕事を「ONE TEAM」で取り組んでいきたい。



組織部

組織部長 古村 俊大

(帯広市立帯広第二中学校)

○「世界のともだち 2019 (NGO ブース)」への参加協力

期日 令和元年 7 月 7 日 (日) 10:30～15:00 (ブース開設は 14:00 迄)

主催 「世界の友だち 2019」実行委員会・独立行政法人国際協力機構北
海道国際センター帯広 十勝インターナショナル協会・外国人留学生
まちづくりを考える会・帯広市
十勝国際理解教育研究会ブース設置

(1) 在外施設派遣教員の出品展示

伊東先生 (鹿追小学校 オーストリア：ウィーン日本人学校)

○「国際理解教育研究大会展示ブースの開設」

期日 令和元年 10 月 30 日 (水)

国際理解研究大会 (音更町立柳町小学校・共栄中学校会場)

出品

＜アフリカ展 開催＞

・『JICA 帯広』から借用

・アフリカ各地の『布』『楽器』『玩具』などを展示

(子どもが実際に手で触れられる展示物)

＜開発教育教材＞

・『JICA 帯広』から 50 点借用

○「小豆の会」

今年度は実施せず



広報部

広報部長 河井義徳

(士幌町立士幌小学校)

○ ホームページ更新と充実

研究大会のようす、在外教育施設派遣教員からの情報などを加え、不定期に更新している。

今年度海外からの報告が少ない傾向にあった。今後定期的に報告がもらえるよう、派遣教員に前もって連絡が必要。昨年度より有料サーバに移行することができ、指導案のダウンロード等も容易にできるようになった。今後 HP が資料アーカイブの役割も果たせるであろう。

○ 広報誌「国際理解教育を求めて」59号の発行

○『国際理解教育を求めて』第59号をお届けします。

○これからも多様な世界に関わり続ける行動力を身に付けた児童生徒の育成をめざし、力を合わせて研究と実践を進めましょう